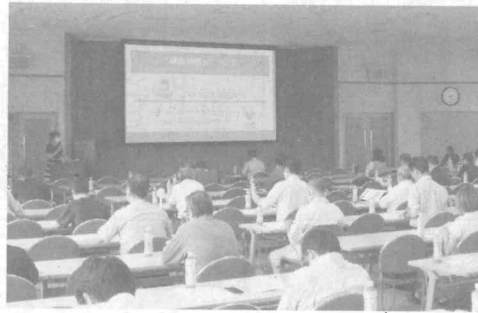


健診活用法を学ぶ

富ト協

【富山】全日本トラック協会と富山県トラック協会(綿貫勝介会長)は8月26日、「定期健康診断の有効活用と睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策セミナー」を開いた。健康管理に関連し、新型コロナウイルス感染防止対策も内容に盛り込んだ。

富ト協の林伸治専務理事は「梅雨明け後は猛暑が続く、熱中症による救急搬送事例の報道が相次いでい



る。屋外作業時の熱中症対策には十分配慮して欲しい」と注意を促した。

NPO法人(特定非営利活動法人)ヘルスケアネッ

新型コロナウイルス感染予防対策も盛り込み

トワーク(OCHIS)の黒田悦子保健師が運輸ヘルスケアナビシステムについて説明。従業員の健康対策への活用と導入企業の事例を、具体的な数値に基づいて紹介した。

この後、OCHISの作本貞子副理事長が健康経営、SASの検査と治療法について解説。全ト協が作成したマニュアルを使用し、感染症対策も講義した。(原田洋一)